

寄島の魅力を発信しよう！

令和2年度寄島小学校5年生 総合的な学習の時間

(寄島の名前の由来) グループ

きっかけ

自分たちが住んでいるこの寄島について、「どうして『寄島』という名前になったのだろうか？」と気になり、調べてみたいと思いました。

インターネットや、パンフレットをもとにして調べ、まとめました。

1、その名前になった理由

昔、仲哀（ちゅうあい）天皇の後（きさき）、神功皇后（じんぐうこうごう）は新羅（昔の中国）遠征に行った帰り、備中国（現在の岡山県西部）の沖合いに来た際に、島々が浮かぶ素晴らしい景色の場所があったため、ここにお立ち寄りになりました。

このことから、皇后が立ち寄られたこの小島を **寄島** と呼ぶようになったのです。



2、寄島の魅力

寄島には、いろいろな魅力がありますが、その中でもおすすめのスポットをいくつか紹介します。

1つ目は、三ツ山です。神功皇后が立ち寄ったという寄島（今は三郎島）の沖にある三つの島です。シーカヤックで上陸することもできます。高さ10m、長さ15mでかんかくが約6mで規則正しくなっています。



2つ目は、苫陰（とまかげ）の井戸です。

昔、神功皇后が、三韓征伐（さんかんせいばつ）の帰り、水を探し求められた井戸で、この水を神に供え、神事が行われたそうです。昔から、この水がかれたことはないそうです。寄島園地の中にあるので、探してみてください。



まとめ

これからも、自然の豊かな環境を守りながら、わたしたちは寄島について学んでいきたいと思っています。

<参考> 観光案内パンフレット「よりしまつれづれ旅」
HP「岡山の街角から」

おまけ

知る人ぞ知る 寄島名物「草もち」

アカザワストアーは、寄島町の大浦地区にある八百屋ですが、草もち、おそうざいがあります。大浦神社の前にあります。近所の方にも人気です。草もちはとてもやわらかくて、ほどよい甘さです。家庭科の時間にお茶をいれた時に、みんなでこの草もちを食べました。とてもおいしかったです。

